

TOTO

壁付き混合水栓(埋込・ホース接続・樹脂管用)施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
この説明書は、お客様へ保管していただくように依頼してさせていただきます。

安全のために必ずお守りください

- 施工する前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの方え、正しく取付けてください。
- ここに示した△注意は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動するかを確認の方え、使用方法をお客様に説明しててください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない
禁止の表示です



行為を強制する
表示です

△注意



●給水栓やワンタッチ継手の分解・改造は行わないでください。
※分解・改造箇所から水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



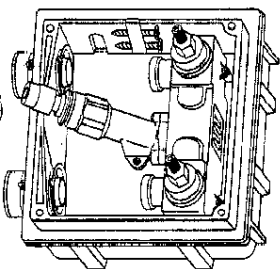
●JIS品以外の樹脂管は取付けしないでください。
※水漏れの原因となります。
取付け可能な樹脂管は下記規格に当てはまる、呼び径13Aのもの
なお、設置条件(給水温度・圧力)については、それぞれのJIS内容に準拠します。

- ・ JIS K 6769-1999 架橋ポリエチレン管M種 (E種電気融着式は不可)
- ・ JIS K 6787-1997 水道用架橋ポリエチレン管M種 (E種電気融着式は不可)
- ・ JIS K 6778-1999 ポリプロピレン管
- ・ JIS K 6792-1997 水道用ポリプロピレン管

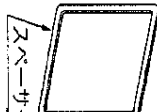
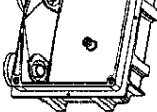
梱包明細

梱包箱には、以下のものが入っています。確認してください。

ボックス内組込み部品



ボックス



給水栓固定用
ビス(3本)



木ねじ
(2本)

キャップ(2個)

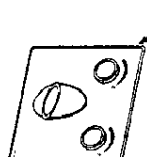


ワンタッチ継手(2個)



クイック
クワサナー(2個)

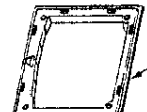
カバー



プレート



固定枠



箱つめ部品



取扱説明書

施工説明書

ハンドル(2個)



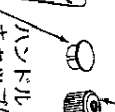
ハンドルワッシャー(2個)



固定用ビス(4本)



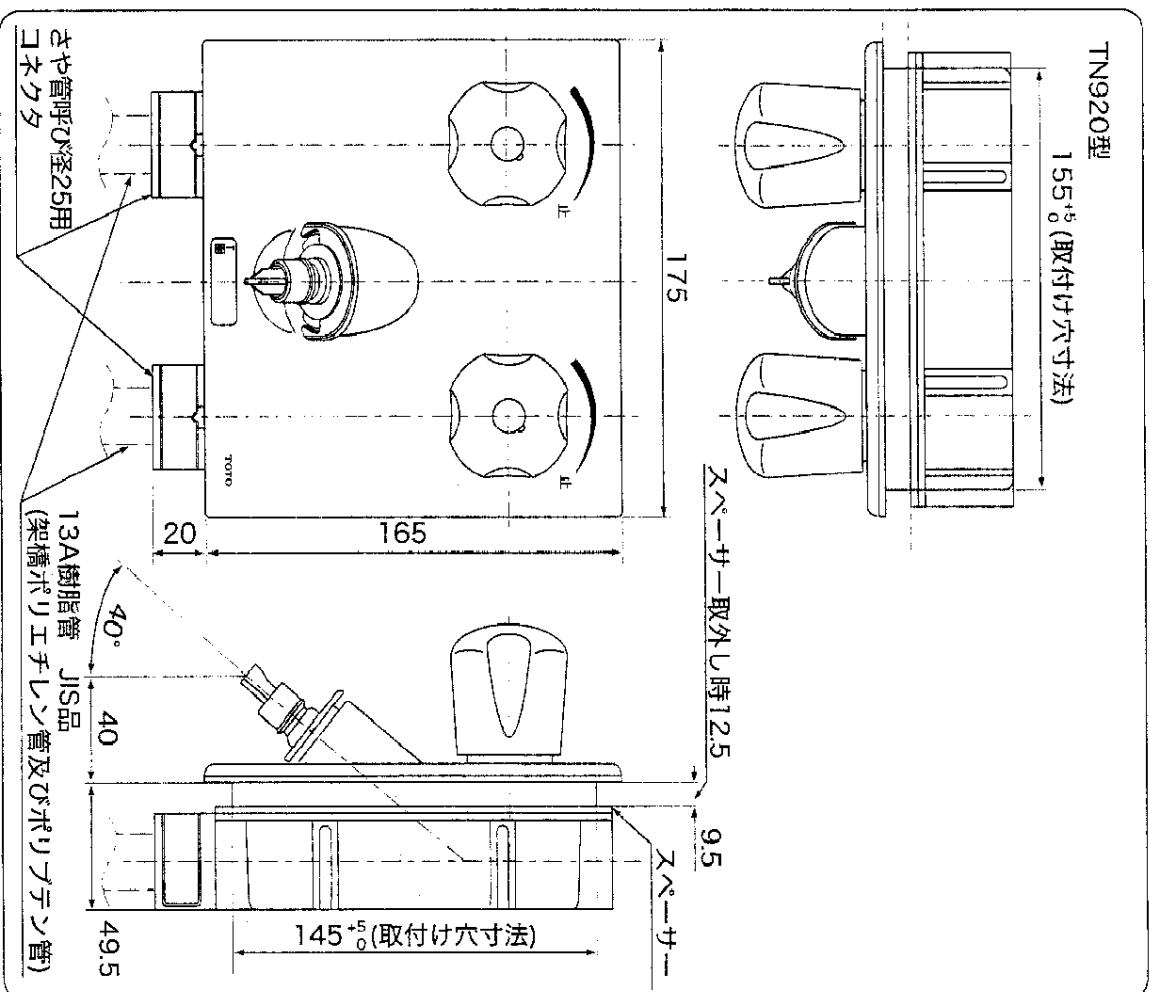
ハンドル
キャップ(2個)



ハンドル用ビス(2本)



完成図

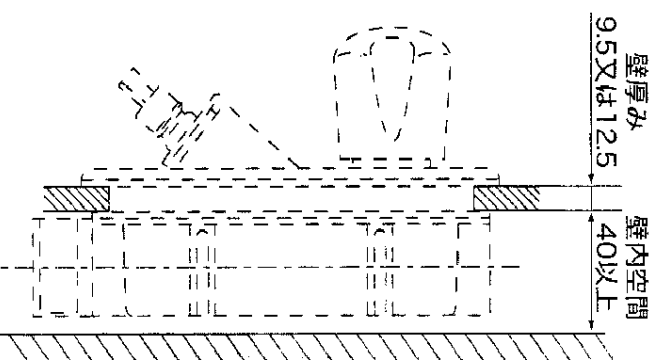


使用条件

1. 本製品は、洗濯機などの給水ホースに付属されている市販の給水ホース継手が接続される専用の給水栓です。
 2. 使用水圧は0.05～0.75MPaです。
 3. 使用水温は5～85℃です。
- ※ 給湯用配管として水道用架橋ポリエチレン管及び水道用ポリブテン管は使用しないでください。

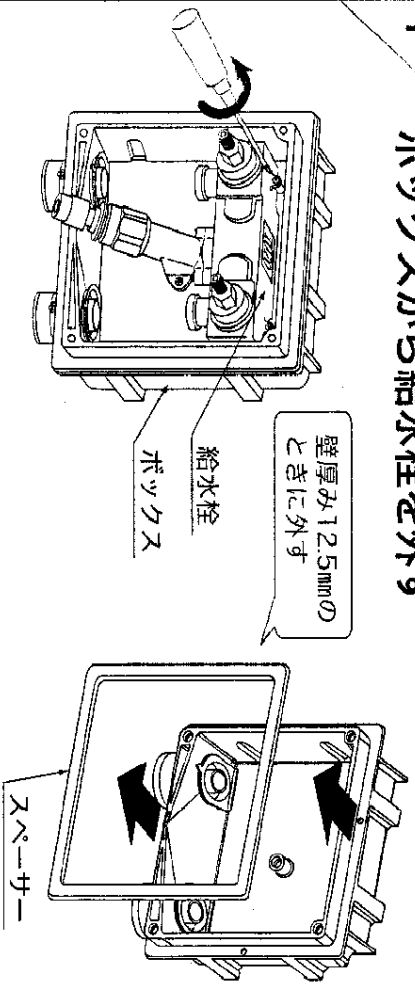
取り付け前に

1. 本製品は壁厚み9.5mm又は12.5mmのポード(壁)に対応しています。壁厚みを確認のうえ施工ください。9.5mm又は12.5mm以外のポード(壁)には取り付けできません。
2. 壁内空間は40mm以上確保できるか確認のうえ、施工ください。40mm未満の壁内空間では、取り付けできません。



施工要領

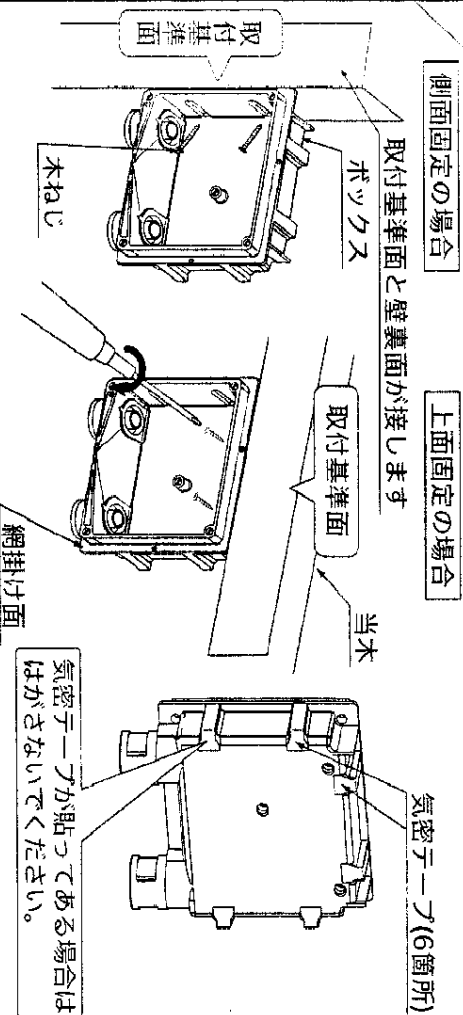
1 ボックスから給水栓を外す



3箇所の給水栓固定用ビスを
ドライバーで外します。

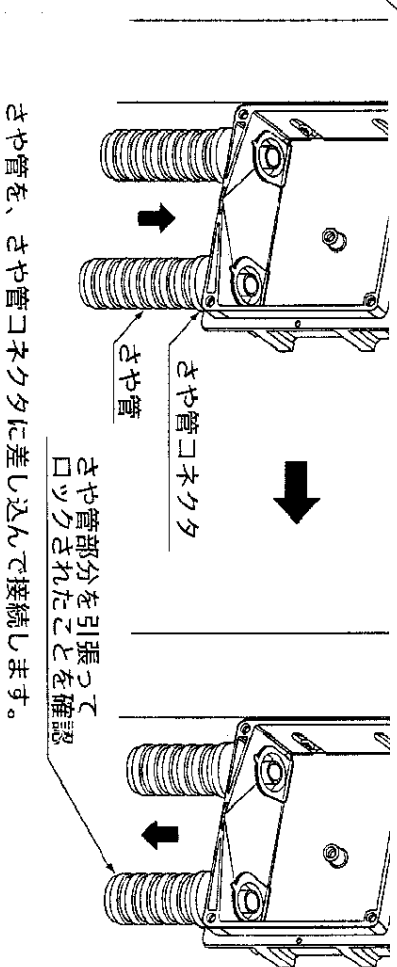
壁厚みを確認し、12.5mmの場合は、
スベーサーを外します。

2 ボックスの取付け



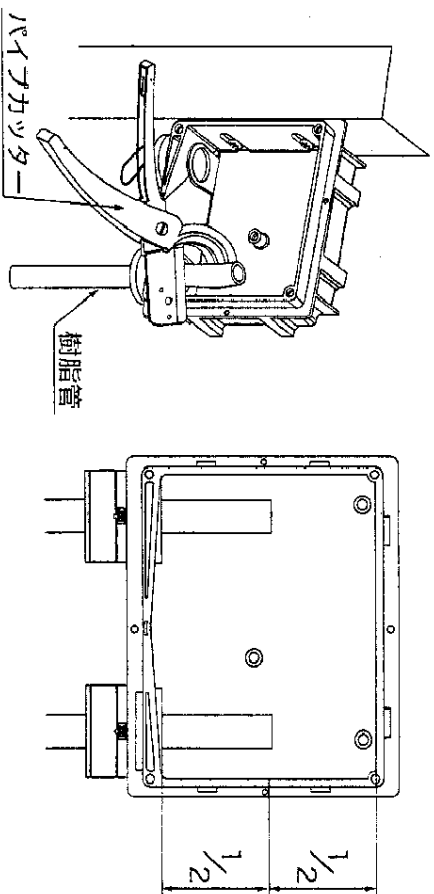
取付け位置に合わせて当木を設け、ボックス内部にテーパー止めされている木ねじを使ってボックスを固定します。(側面又は上面)
尚、ボックスの網掛け面と取付基準面が一致するように固定してください。この時、ボックス外部に気密テープが貼ってある場合は、はがさずにそのまま固定してください。

3 さや管の接続(さや管の場合のみ)



さや管を、さや管コネクタに差し込んで接続します。

4 樹脂管をボックス内に通す

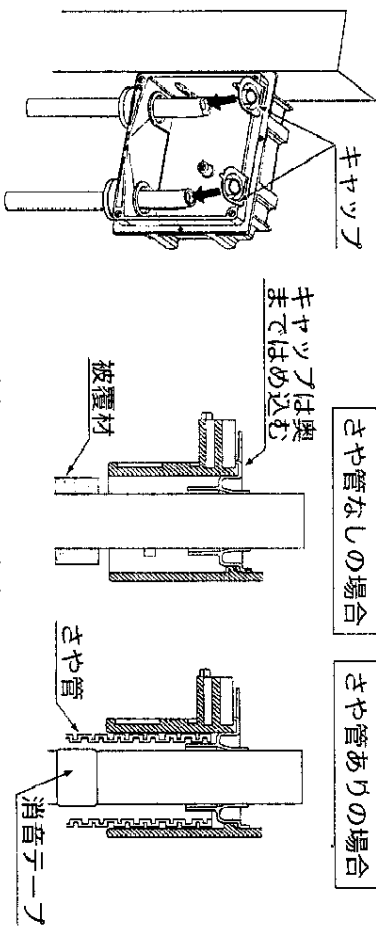


サイズ13Aの樹脂管をボックス内に通します。樹脂管はボックス縦寸法の半分的位置を目安にカットしてください。尚、カットする際は、カット面が斜めにならないよう注意してください。(工程6を参照ください。)

注意

- 樹脂管を切断するときは、直角度とキス付きに注意してください。
- ※ 水漏れの原因となります。

5 キャップの取付け

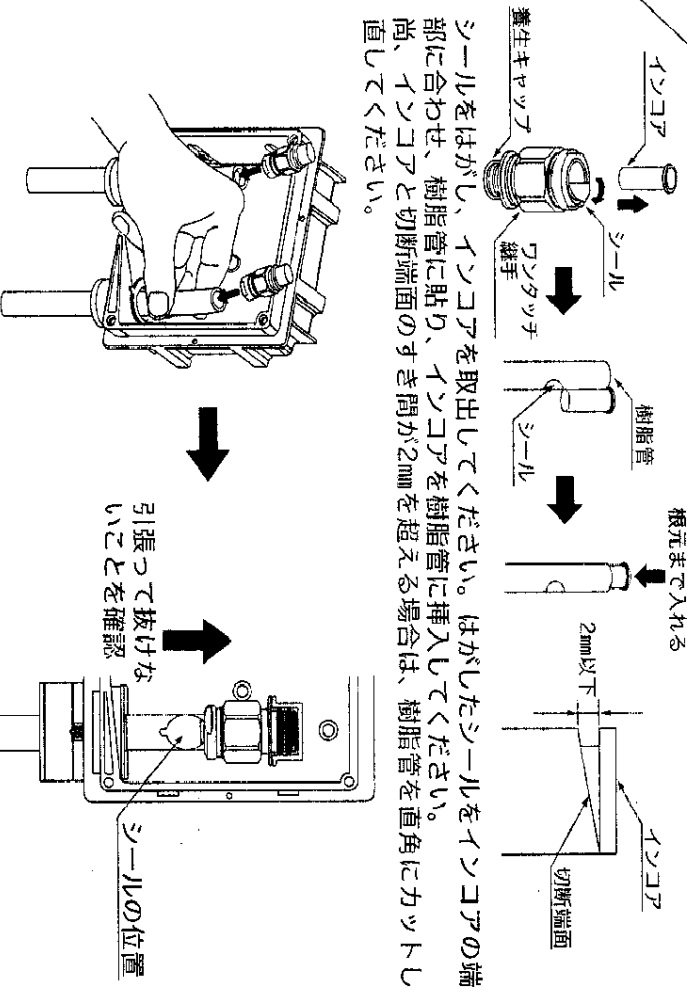


キャップを樹脂管に通し、ボックス底部にはめ込みます。尚、樹脂管に被覆材や消音テープがついている場合は、キャップのはめ込みをさまたげないように、カットするなどの処理をしてください。

⚠ 注意

- 被覆材や消音テープをめくったり、カットする際は、樹脂管にキズが入らないように行なってください。
※ 水漏れの原因となります。
- キャップは確実にはめ込んでください。
※ 万一水漏れがおこった場合、水漏れが室内側に出なくなり、水漏れが発見できなくなります。

6 ワンタッチ継手の取付け



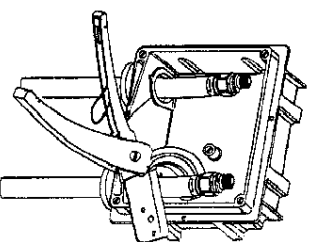
シールをはがし、インコアを取出してください。はがしたシールをインコアの端部に合わせ、樹脂管に貼り、インコアを樹脂管に挿入してください。尚、インコアと切断端面のすき間が2mmを超える場合は、樹脂管を直角にカットし直してください。

⚠ 注意

- JIS品以外の樹脂管は取付けしないでください。
※ 水漏れの原因となります。
- ワンタッチ継手の内部に異物がないか、樹脂管挿入部の表面にキズや汚れがないか確認してください。
※ 水漏れの原因となります。
- 樹脂管には、インコアとシールを取付け、ワンタッチ継手に確実に挿入してください。また挿入後もシールは、はがさないでください。
※ 水漏れの原因となりますし、検査時のシールによる確認ができません。

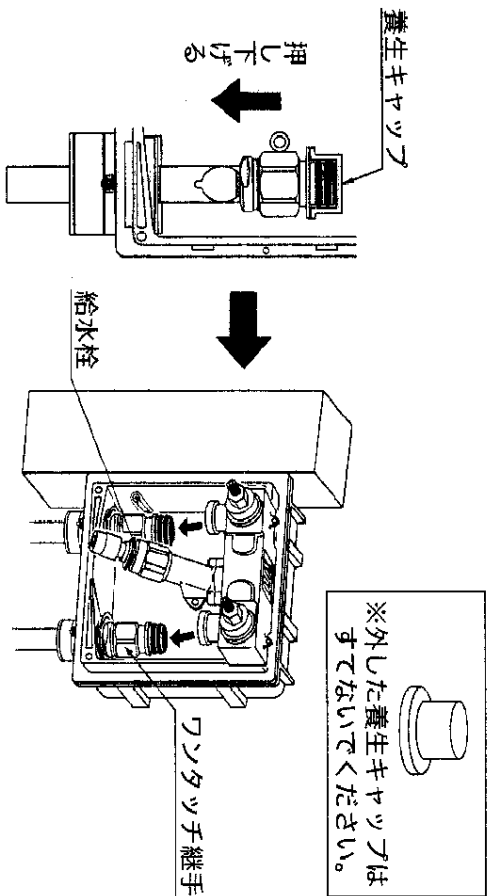
インコアを入れ忘れの場合

樹脂管を切断し、別売のワンタッチ継手 (TN900V1TRX) を購入し、接続し直してください。

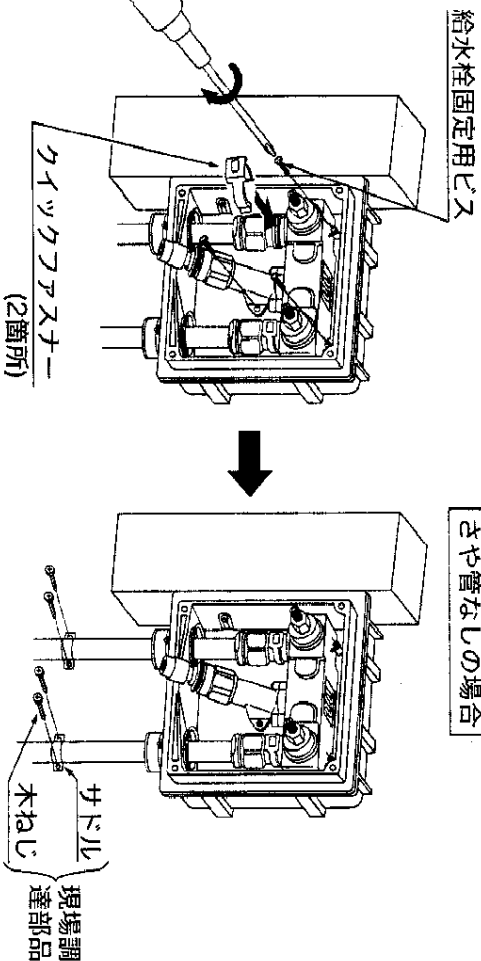


シールの位置までワンタッチ継手を差し込み、抜けないことを確認してください。

7 樹脂管の位置決め(固定)

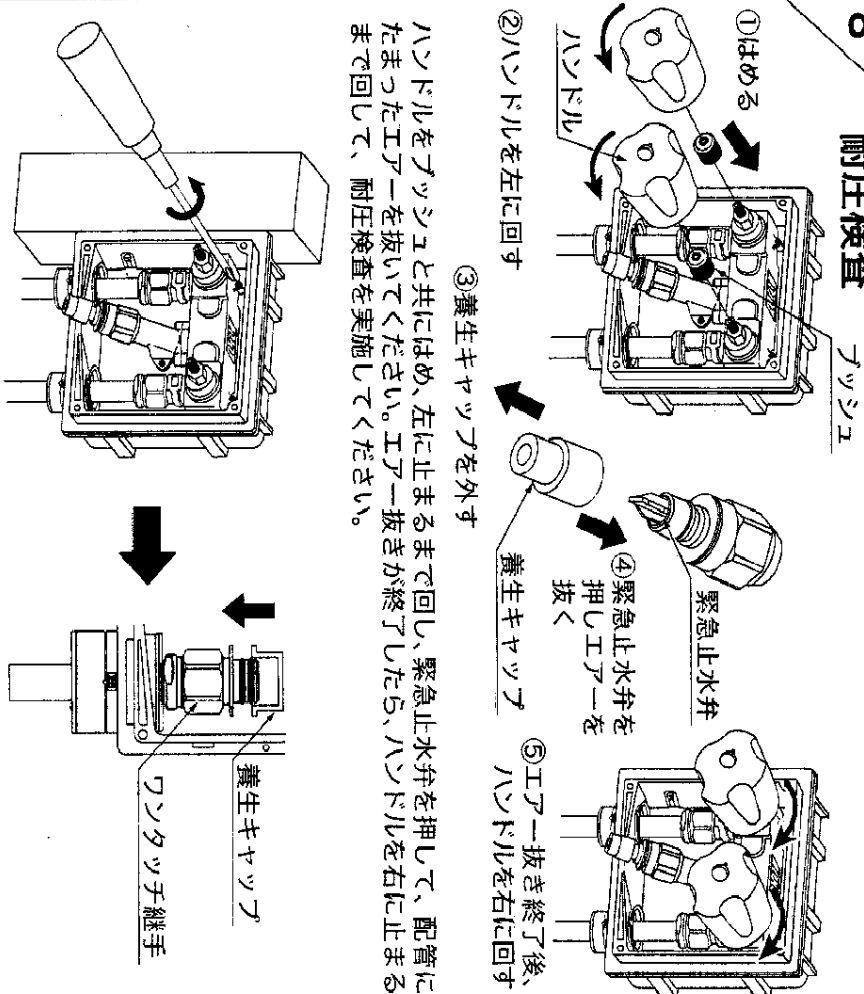


ワンタッチ継手についている養生キャップを外し、ワンタッチ継手を押し下げ、給水栓をワンタッチ継手に接続してください。



給水栓固定用ビスをねじ込み(3箇所)、給水栓をボックスに仮止めしてください。同時に給水栓とワンタッチ継手を、クイックフラスナーで固定してください。さや管なしの場合、樹脂管のサトル固定作業は、給水栓の仮止めを行った後に行なってください。

8 耐圧検査



①はめる
②ハンドルを左に回す
③養生キャップを外す
④緊急止水弁を押しエアを抜く
⑤エア抜き終了後、ハンドルを右に回す

ハンドルをワンツェと共に左にはめ、左に止まるまで回し、緊急止水弁を押し、配管にたまったエアを抜いてください。エア抜きが終了したら、ハンドルを右に止まるまで回して、耐圧検査を実施してください。

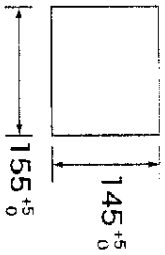
⚠️ 注意

- 養生キャップは壁工事後の作業再開まで取付けておいてください。

※水漏れの原因となります。



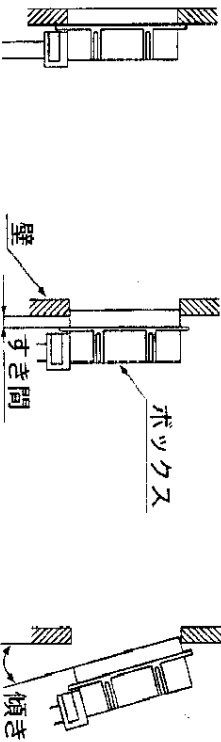
9 壁開口寸法



壁は左図の寸法で開口してください。

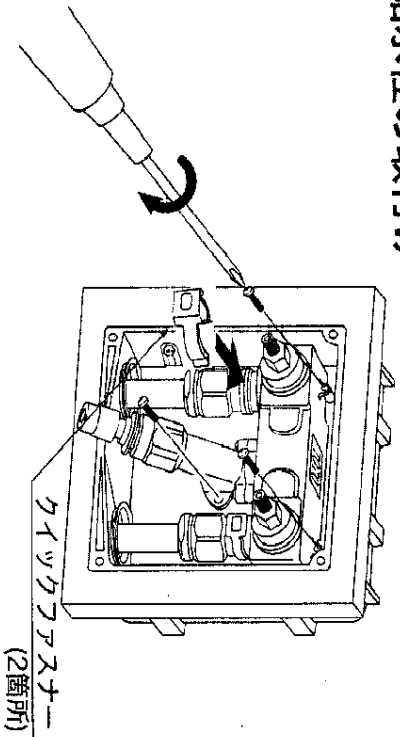
10 ボックスの位置確認

木ねじをゆるめて微調整



壁工事後のボックスの状態を確認してください。ボックスと壁裏面との間に、すき間や傾きがある場合は、木ねじをゆるめて微調整してください。

11 給水栓の取付け

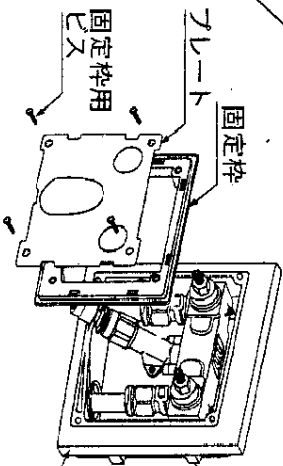


工程7の作業と同様に給水栓をボックスに固定してください。

⚠️ 注意

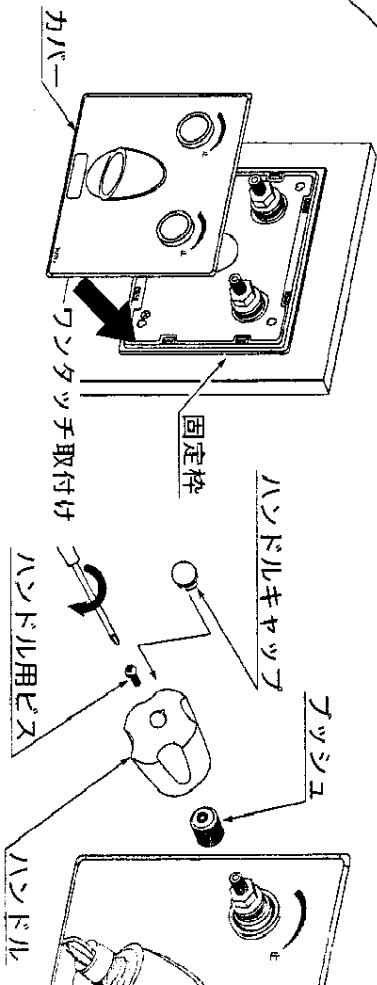
- クイックフラスナーはボックス開口部正面から『パチツ』と音がするまで確実に差し込んでください。
- ※水漏れの原因となります。

12 固定枠の取付け



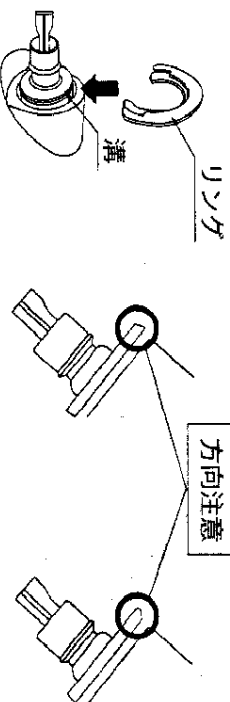
ボックス
固定枠とプレートを固定枠用ビスでボックスに取付けてください。
※固定枠とボックスで壁をはさみつけた状態となります。

13 カバー及びハンドルの取付け



カバーを固定枠に下の方からワンタッチで取付けてください。ハンドルをワンタッチ挿入後ハンドル用ビスで取付けてください。最後にハンドルキャッチを右のハンドルには青色のキャッチを、左のハンドルには赤色のキャッチをワンタッチで取付けてください。

14 リングの取付け・完成



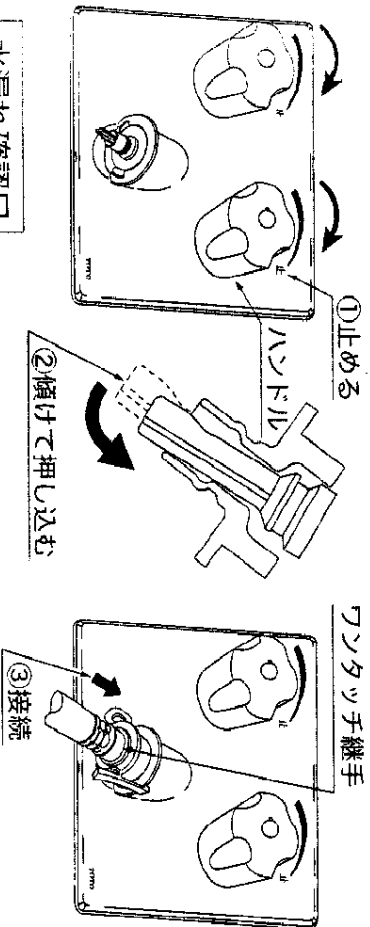
リングの方向に注意して、溝にリングを取付けてください。これで完成です。

使用上の注意

この商品は緊急止水弁機構や、水漏れ確認口を搭載しております。
以下の内容をお読みいただき、お客様に内容をご説明ください。

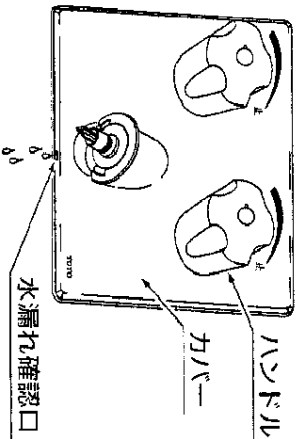
緊急止水弁機構

洗濯機などの給水ホースに、付属されている市販の給水ホース継手が外れても、水圧とはねの力で水を止める弁機構です。
この緊急止水弁は水圧がかかったままですと、給水ホース継手が接続しにくくなりますので、一旦ハンドルを『止』に回して、緊急止水弁の水圧を逃がしてから、給水ホース継手を接続してください。



水漏れ確認口

ボックス内で万一水漏れが起っても、壁表側に水漏れを導くことで水漏れを確認できるようにしています。その水漏れが出てくるところが水漏れ確認口です。水漏れ確認口はカバー下部にあります。



お手入れ

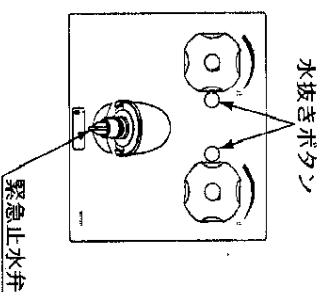
器具がいつまでも美しさを保つように、また快適にお使いいただけるようにお客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかい布で拭いてください。
- ひどい汚れの場合は、適量に薄めた台所用又は浴室用中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取った後、洗剤を含んでいない濡れた布で洗剤を拭き取り、からぶきしてください。
- クレンザーやみがき粉など、粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは、使用しないでください。
- 酸性及びアルカリ性洗剤は、樹脂を侵しますので使用しないでください。

寒冷地の水抜き方法

寒冷地仕様の場合は水栓内部の溜水を抜くため、逆止弁解除機能を設けています。凍結が予想される時期には配管の水抜き操作とあわせて、次の要領で水抜きしておいてください。
また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

- 湯水ハンドルを全開にしてください。
- 洗濯機などの給水ホースを外してください。
- 『緊急止水弁と水側の水抜きボタン』を同時に30秒間押ししてください。
- 『緊急止水弁と湯側の水抜きボタン』を同時に30秒間押ししてください。



※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡できない場合は、工事完了後、ハンドルなどに吊り下げてください。

分解と点検

取付け後、万一故障などで分解及び点検するときは、次の要領で行なってください。

現象	点検項目
水が出ない・止まらない。	①
緊急止水弁から水漏れする。	②
水漏れ確認口から水が出ている。	③④

